

北浜駅
50分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

堺筋線 北浜駅

船場の北岸・北浜

大坂商人が商いの腕を競った北浜を歩く

秀吉は大坂のまちづくりで、船場に伏見や平野、堺などから商人たちを移住させました。北船場の今橋通り、高麗橋通りには多くの豪商が家業を営み、大坂の、そして日本の経済の主役を演じました。そのような豪商たちの足跡を訪ねて北浜を歩きます。



歌川国貞 三井呉服店(浪花百景)
大阪市立図書館所蔵

スタート駅



約 50 分



ゴール駅

堺筋線
北浜駅

(1-B)号出口

1

大阪金相場会所跡
五代友厚公像
大阪取引所

2

難波橋

3

(大阪会議開催地)
花外楼

4

今橋

5

開平小学校
十兵衛横町

6

東横堀川
里程元標跡碑
高麗橋

7

近代建築群

8

旧小西家住宅

9

少彦名神社(神農さん)
道修町

10

旧鴻池家本宅跡碑

堺筋線
北浜駅

明治になっても北浜は日本経済の一翼を担いました。堺筋には大阪株式取引所が設立され、砂糖輸入を一手に扱う貿易商が並び、新しい金融・証券業が産声を上げました。江戸時代から続いた薬問屋のまち道修町には近代的な製薬業が本家を連ねました。

北浜駅
50分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

堺筋線 北浜駅

船場の北岸・北浜

大坂商人が商いの腕を競った北浜を歩く

秀吉は大坂のまちづくりで、船場に伏見や平野、堺などから商人たちを移住させました。北船場の今橋通り、高麗橋通りには多くの豪商が家業を営み、大坂の、そして日本の経済の主役を演じました。そのような豪商たちの足跡を訪ねて北浜を歩きます。

スタート駅

約 50 分

ゴール駅

堺筋線北浜駅(1-B)号出口

堺筋線北浜駅

1 大阪取引所・五代友厚公像・大阪金相場会所跡

江戸時代、この地に貨幣の金・銀・銭の交換値を決める会所がありました。明治になって五代友厚らが発起人となりここに大阪株式取引所が設けられました。その後、大阪証券取引所の時代を経て、現在は日本取引所グループの一員となり、先物・オプション取引に特化した取引所です。平日には展示コーナーなどの見学ができます。



2 難波橋

江戸時代、大坂には12橋しかなかった幕府管理の公儀橋のひとつで、付近は夕涼み、舟遊び、花火見物などの行楽地として賑わいました。明治9年(1876)に中之島の先端から北側が鉄橋になり、大正4年(1915)に市電の開通に伴って一筋東寄りの堺筋に石橋として架けかえられました。パリで一番美しいといわれるアレクサンドル3世橋のライオン像に倣って、4隅の親柱の上に日本流のライオン像が設置され、ライオン橋とも呼ばれています。



3 花外楼(大阪会議開催地)

天保元年(1830)創業の老舗料亭で、明治8年(1875)、混迷していた明治政府の施政方針を定めようとして政府の大久保利通、伊藤博文、井上馨と下野していた木戸孝允や板垣退助がここで会議をもちました。大阪会議と呼ばれ1か月かけて妥協が成立したとされています。当時は木戸孝允の常宿「加賀伊」でしたが、会議の成功を祝して木戸が「花外楼」と改名しました。



4 今橋

今橋の西側は、両替商が並ぶ金融街でした。天王寺屋五兵衛と平野屋五兵衛の店が向かい合い「天五に平五、十兵衛横町」と呼ばれていました。開平小学校は平成に愛日小学校と集英小学校が合併して開校しました。愛日小学校は商人学者・山片蟠桃が番頭を務めた升屋の跡地に建てられ、蟠桃の蔵書は開平小学校に「愛日文庫」として受け継がれています。



5 十兵衛横町開平小学校



6 高麗橋・里程元標跡碑東横堀川

高麗橋は、大坂城と船場を結ぶ要所として最も格式が高い公儀橋でした。西詰には高札場、東詰には里程元標がありました。通りには両替商、扇商、菓子店、さらに恵比須屋、岩城屋、三井越後屋などの呉服店が並ぶ大商人のまちを形成していました。明治3年(1870)に大阪初の鉄橋が架けられています。東横堀川は天正13年(1585)に大坂城の西惣構として開削された大坂で最古の堀川です。



7 近代建築群

北浜には昭和初期に建てられた近代建築がいくつも残っています。安井武雄が設計した最古のビルが昭和2年(1927)の高麗橋野村ビルディング、向かいの三井住友銀行のビルは昭和11年(1936)の新古典様式建築で、ほかにも国の有形文化財である新井ビル、伏見ビル、生駒ビルディングなどが周辺に見られます。



8 旧小西家住宅

安政3年(1856)に小西儀助が道修町に薬種業を創業し、現在の建物は明治36年(1903)に建築されました。明治末期の店の姿をよくとどめているとして国の重要文化財に指定されています。ウェブ予約によって公開されています。



9 道修町・少彦名神社(神農さん)

江戸時代に中国・清やオランダからの輸入薬を一手に扱う薬種問屋が集中し、薬種中買仲間として幕府から公認されました。和薬種も含めて薬は一旦、道修町に集められ、品質が保証されて全国流通しました。いまでも150社ほどの薬問屋や製薬会社が社屋を構えている「薬のまち」になっています。少彦名神社は、日本の薬祖神・少彦名命と中国の医薬神・神農を祀ります。大坂でコレラが流行したときに薬種問屋が虎の頭の骨を配合した丸薬を配ったので、張子の虎がお守りになりました。神社入口には道修町を舞台にした谷崎潤一郎の『春琴抄』の碑があります。



10 旧鴻池家本宅跡碑

鴻池家は伊丹で清酒の醸造を始め、大坂に進出して両替商で財を成し、代々の鴻池善右衛門はここに本宅を構えました。江戸時代では日本最大の財閥に発展して、幕末での資産は銀五万貫に達し、膨大な大名貸しで「鴻善ひとたび怒れば天下の諸侯色を失う」といわれました。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2024年12月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先) 大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行